

## 第3回在宅医療・介護連携推進のための 多職種研修会が開催されました

とまこまい医療介護連携センター

2018年10月10日(水)18:00~19:45震災で延期となっておりました第3回在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会が苫小牧市医師会館講堂にて、107名12職種の参加により開催されました。

介護支援専門員35名、病院、訪問看護等の看護職33名、ソーシャルワーカー9名、薬剤師8名、理学・作業療法士の7名、管理栄養士5名、歯科医師4名、歯科衛生士3名など、医療、介護に携わる専門職が参加され活発な意見交換をしました。

今回は、6月に実施した多職種連携研修会のテーマである『相互理解』第2弾として開催されました。

第1部では『多職種連携で支える“在宅緩和ケア”』と題して、苫小牧ひばり緩和ケアクリニック摂食・嚥下障害看護認定看護師 小津美智子先生による講演を行いました。



講師 苫小牧ひばり緩和ケアクリニック  
摂食・嚥下障害看護認定看護師  
小津 美智子氏



第2部では、『入院医療の場から、暮らしの場へ移行するために・・・』在宅緩和ケアを必要とする方の事例をもとに、多職種によるグループワークで、退院支援に向けて、情報共有・課題整理、目標の共有をしました。

講師の小津先生からは、多職種によるチームアプローチで提供される緩和ケアにより、苫小牧のみなさんが、より在宅で最後まで過ごせるという選択肢が広がることを願ってい



グループワークでアドバイスする小津講師



※グループワークの様子  
入院医療の場から暮らしの場へ移行するために  
在宅緩和ケアを必要とする方の退院支援にむけて



※グループワークの様子  
末期癌余命3ヶ月の花子さんの在宅療養生活を  
支えるために

るという熱い思いのメッセージがありました。

また、グループワークではそれぞれの専門的な分野から、何が課題で、何ができるか、目標の共有をしていく過程で、相互理解を深める事ができました。

研修会終了後には、色々な職種で考え方や視点が違うので勉強になったとの声が多く聞かれ、99名からのアンケート結果では、今後も多職種によるグループワークの機会を希望するという回答が96%をしめました。

今後も各専門職の皆さまのアドバイスをいただきながら、より有効な多職種連携に繋がる研修会を企画していきたいと思いません。

関係専門職団体の皆さま及び、ご参加いただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。

とまこまい医療介護連携センター



第3回 医療介護連携推進のための多職種研修会(2018年10月10日開催)

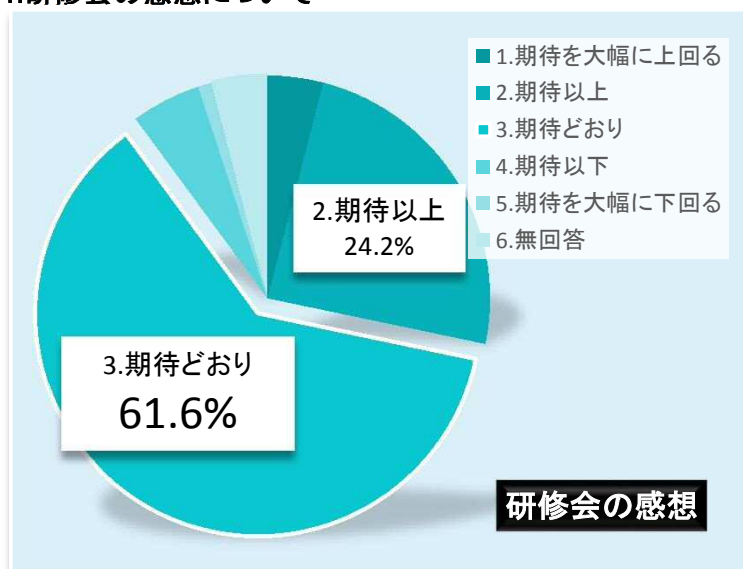
アンケート集計結果

出席人数	107人
提出人数	99人
回答率	92.5%

【回答者の職種内訳】

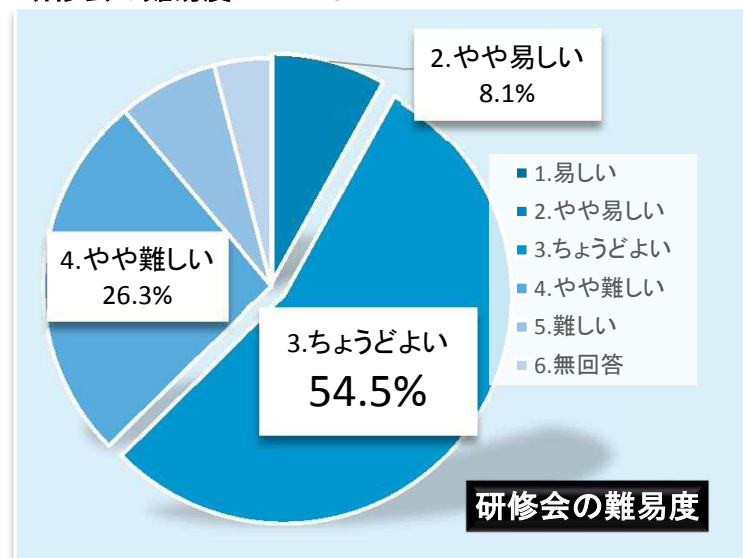
医師	0	0.0%	言語聴覚士	0	0.0%
歯科医師	3	3.0%	栄養士	4	4.0%
薬剤師	7	7.1%	歯科衛生士	3	3.0%
保健師	0	0.0%	医療ソーシャルワーカー	8	8.1%
看護師(病院)	21	21.2%	社会福祉士	0	0.0%
看護師(訪問)	8	8.1%	介護支援専門員(事業所)	32	32.3%
看護師(施設)	0	0.0%	介護支援専門員(施設)	0	0.0%
看護師(包括)	1	1.0%	介護職員	1	1.0%
理学療法士	6	6.1%	事務員	1	1.0%
作業療法士	1	1.0%	その他	3	3.0%

問1.研修会の感想について



1.期待を大幅に上回る	4	4.0%
2.期待以上	24	24.2%
3.期待どおり	61	61.6%
4.期待以下	5	5.1%
5.期待を大幅に下回る	1	1.0%
6.無回答	4	4.0%

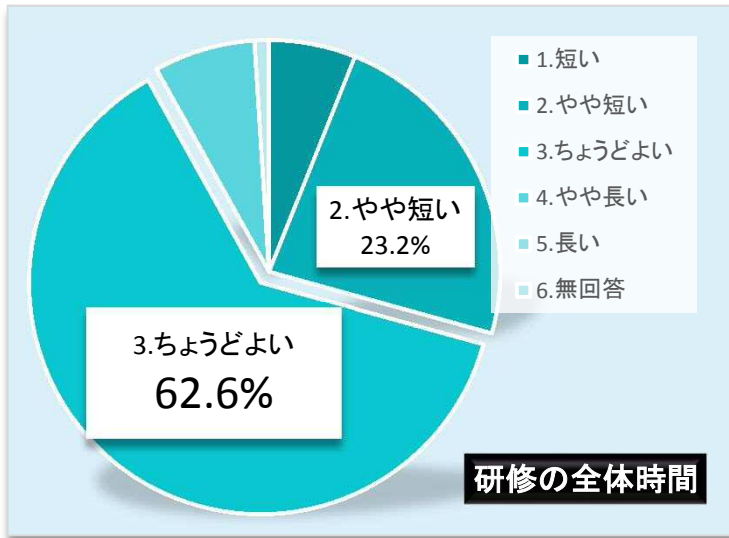
問2.研修会の難易度について



1.易しい	0	0.0%
2.やや易しい	8	8.1%
3.ちょうどよい	54	54.5%
4.やや難しい	26	26.3%
5.難しい	7	7.1%
6.無回答	4	4.0%

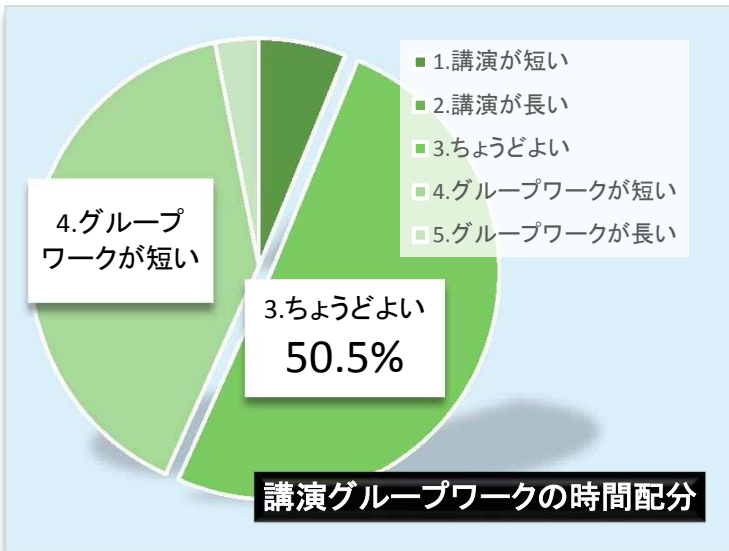
アンケート集計結果

問3.研修会の時間(1時間45分)について



1.短い	6	6.1%
2.やや短い	23	23.2%
3.ちょうどよい	62	62.6%
4.やや長い	7	7.1%
5.長い	0	0.0%
6.無回答	1	1.0%

問4.講演とグループワークの時間配分について

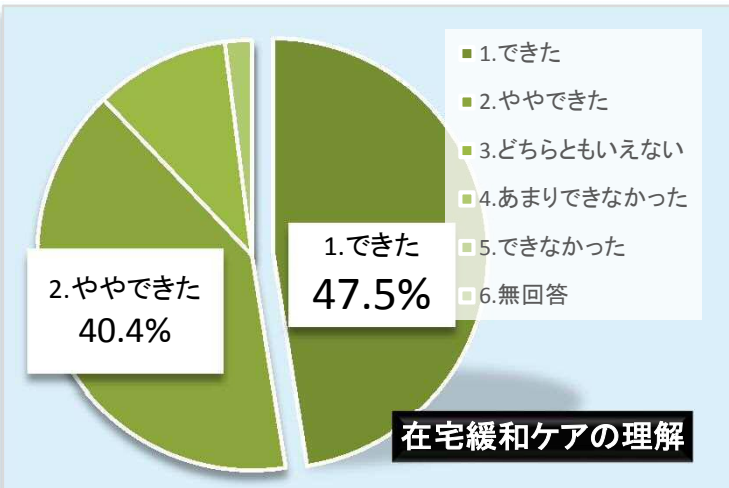


1.講演が短い	6	6.1%
2.講演が長い	0	0.0%
3.ちょうどよい	49	49.5%
4.グループワークが短い	39	39.4%
5.グループワークが長い	3	3.0%
6.無回答	2	2.0%

【意見】

・時間配分は、講演の内容によるのではないか。「講演+グループワーク」では、時間的に厳しいのではないか。

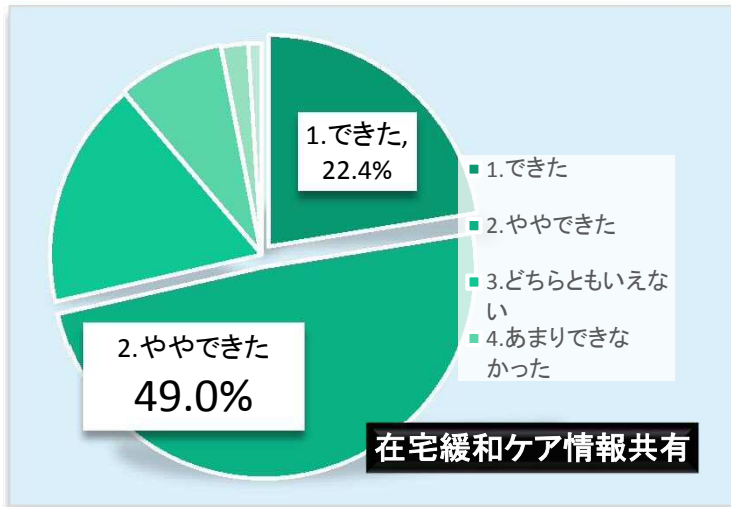
問5.在宅緩和ケアへの理解について



1.できた	47	47.5%
2.ややできた	40	40.4%
3.どちらともいえない	10	10.1%
4.あまりできなかった	2	2.0%
5.できなかった	0	0.0%
6.無回答	0	0.0%

アンケート集計結果

問6.在宅緩和ケアへの多職種の情報共有について

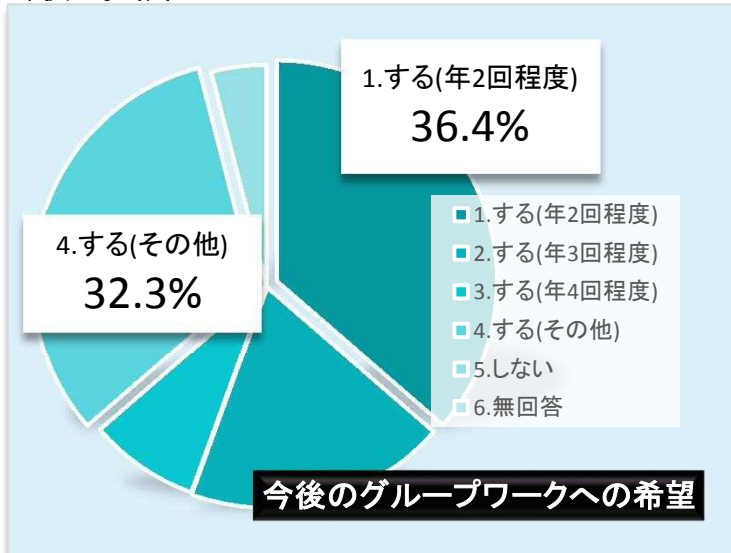


1.できた	22	22.2%
2.ややできた	48	48.5%
3.どちらともいえない	17	17.2%
4.あまりできなかった	8	8.1%
5.できなかった	2	2.0%
6.無回答	1	1.0%

【意見】

・時間があまりなかった。でも長くても大変ですね。

問7.今後の多職種によるグループワークについて



1.する(年2回程度)	36	36.4%
2.する(年3回程度)	19	19.2%
3.する(年4回程度)	8	8.1%
4.する(その他)	32	32.3%
5.しない	4	4.0%
6.無回答	0	0.0%